

平和

四十五年前の八月、広島・長崎には原子爆弾が落とされ、日本は終戦を迎えました。戦場での悲惨な戦いや、銃後での苦しい生活など、年とともに戦争は忘れ去られつつありますが、田子浦地区に戦争のむごさをしるす碑が新たにできました。

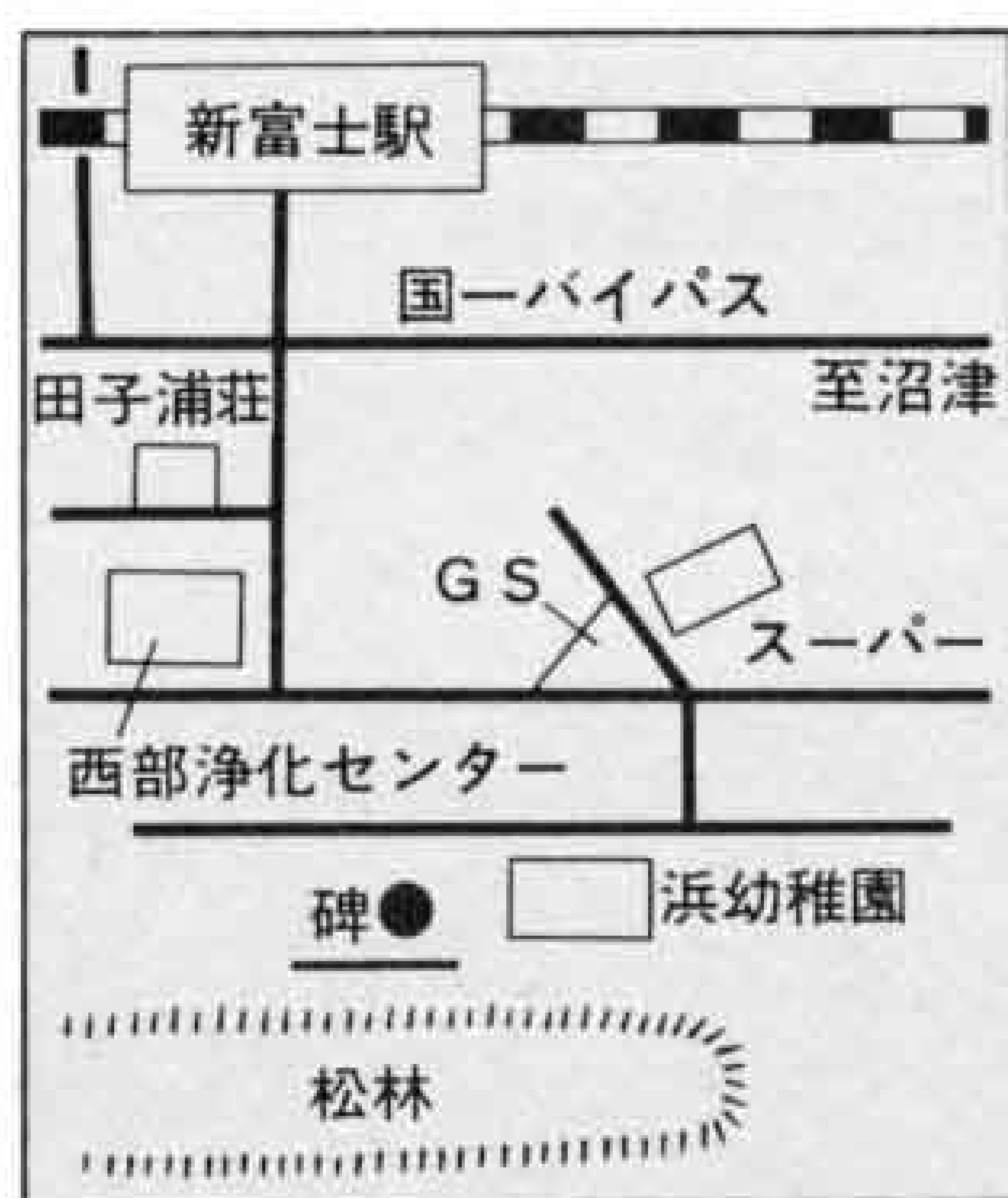
この碑は「中国人殉難者慰霊碑」といい、戦争末期、中国人を強制連行した暗い歴史を物語っています。今回は、この碑を紹介しながら、みんなで平和について考えてみたいと思います。

戦争の悲劇を伝える

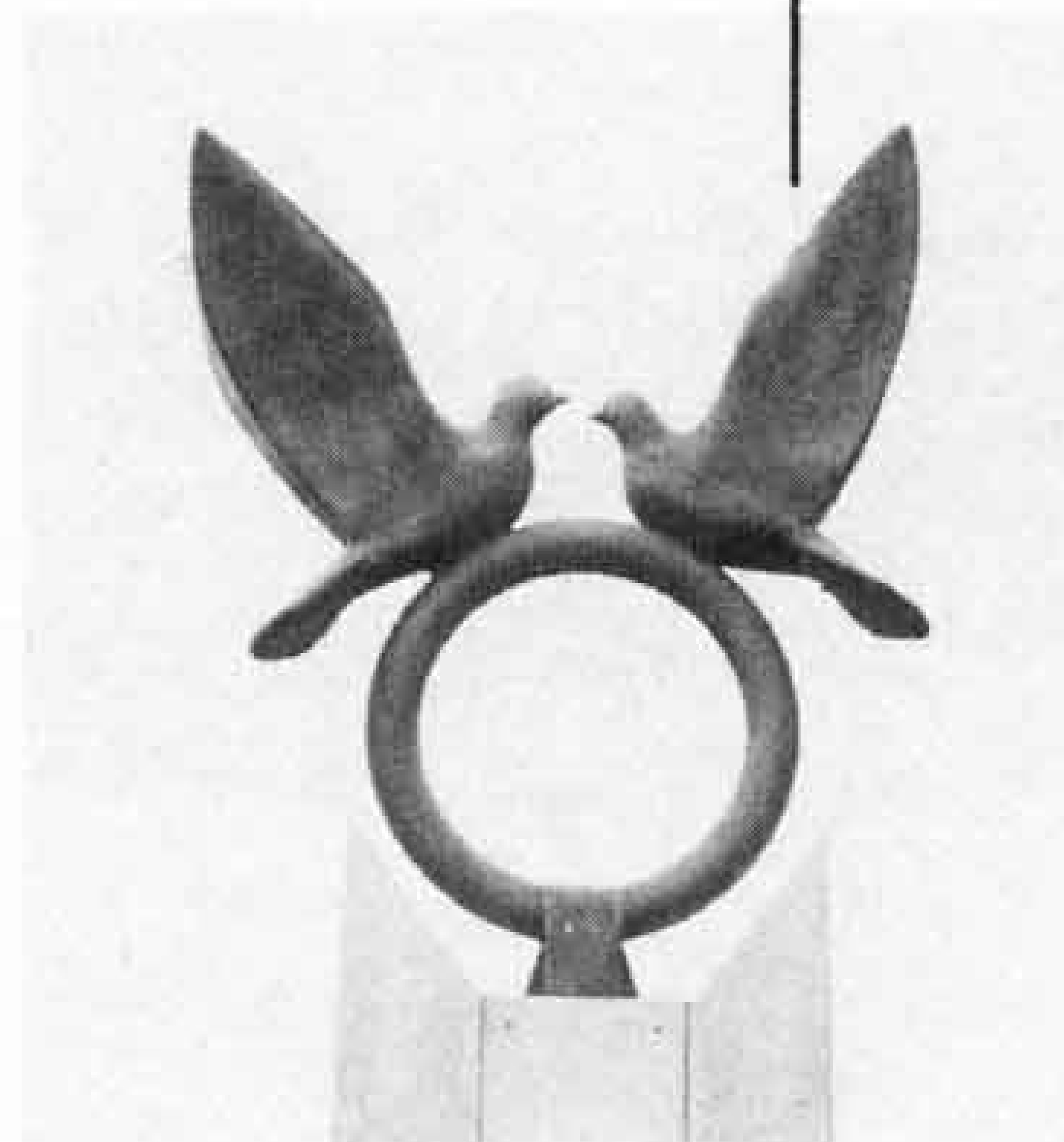
田子の浦海岸の松林に囲まれた中丸共同墓地の一角に「中華民国人興亞建設隊故殺者之碑」と刻まれた白く大きな碑があります。また、その脇には黒の御影石に「中国人殉難者慰霊碑」と刻まれた副碑もあります。この二つの碑には次のような経過があります。

昭和十九年、現在の富士南中の北側から自由ヶ丘団地までの間に陸軍が富士飛行場の建設を始めました。当時は兵役のため働き手が少なく、中国から強制連行されてきた中国人五百四人が「興亞建設隊」に編入され、作業に従事させられたのです。

戦争末期のことですから満足な食料はなく、過酷な労働と劣悪な生活環境の中で、中国人は働かされ、故国にはせぬ思いもむなしく五十二人が亡くなり、亡きがらは中丸の共同墓地に埋葬されました。



平和な時代が当たり前と思つてきたでもそうではない時代があつた……



△「中国人殉難者慰霊碑」の除幕式（7月14日）

平和を願うことが 亡くなつた人への献花



佐野みよ子さん
(三四軒屋・61歳)

◇やってきた五百人の中国人

私が女学生だった昭和十九年の秋ごろだったと思います。軍部の

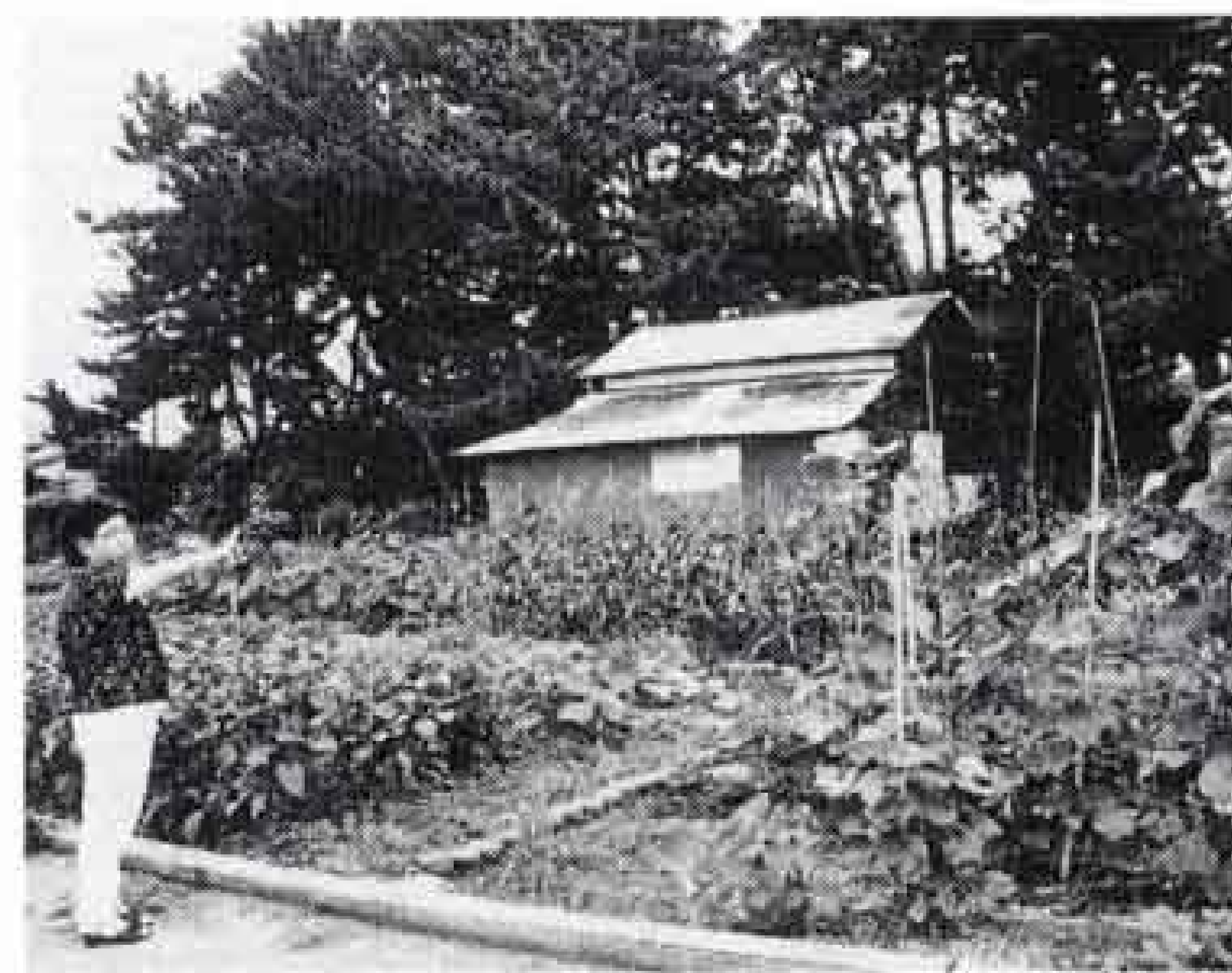
命令によって、富士川左岸に飛行場が建設されることになり、建設労務者として五百人余の中国人が三四軒屋へやってきました。中国人の宿舎は、木造バラックで、竹のさくの中にありました。その位置は、当時の上五貫島あたりから今のディアナ号のいかりのある公園を通して、三四軒屋松原までつながっていた富士川堤防内土手の西外れにありました。

◇隔離された生活

その宿舎での生活はどの様だっ



△昭和30年ごろの飛行場跡地（富士南地区の郷土誌「ききょうの里」より）



△宿舎のあった場所、今は畑に

たのか外部の者にはわかりませんでした。朝晩、むちを持った監督者に監視されながら、隊列を組み、黙々と飛行場建設に通う姿が今もはっきりと思い出されます。私は怖かったので、物陰からのぞき見たものでした。中国人は紺のキルティングのような服を着ていました。

また、宿舎から少し離れた西側には、病人を隔離した小屋がありました。木切れを張りつけた小さな窓から時折、青ざめた顔で外を眺めている中国人の姿を二・三度見かけたこともありました。

◇足にいつぱいののみ

戦後、このバラックの宿舎が取り払われ、後は畑地となりました。その畑を通ったとき、モンペをはいた足が、いやにかゆいのです。家に帰り、モンペを脱いで驚きました。モンペの縫い目から足に、それは足の色が変わるほど、ビッシリ、のみが吸いついていたので、「ワアッ」と声にならない声を出し、外に飛び出て、のみを払い落としました。飢えだけでなく

こんなところにも死につながる原因があったのでしよう。

◇中国人の胸中を思うと…

松原のあの宿舎で、ましてや異国の土地で、悲しい人生の終わりを迎えた人々が五十二人もいたとは、改めて戦争の悲しさ、むなしさを感じます。

四十数年前、隊列を組み、黙々と飛行場に通っていた中国人の胸中を思うとき、私の胸は重く、締めつけられる思いがします。二度とこのような不幸が起きてはなりません。

日中のみならず、この世の平和を願うことが、黙々と歩き亡くなった人々へのせめてもの献花であると、私は信じています。

（この文は、富士南地区の郷土誌「ききょうの里」に掲載された佐野みよ子さんの文をもとに、今回取材し加筆したものです。）



△左から長野君、和田校長先生、曾根さん

碑の掃除を続ける

田子浦中学生

中丸区に住む田子浦中の生徒は、年四回、奉仕活動として慰霊碑を掃除しています。また、和田恒雄校長先生は、富士中一年生のとき勤労奉仕で週一回くらい、中国人と一緒に作業した経験をもっています。二年生の長野英史君と曾根輝子さんは校長先生の体験を聞き「今生まれてきてよかったです。現在の生活と比べると信じられない。昔のようにならないよう、碑を大切に、話を伝えていきたい」と語っていました。

平和を考えるビデオ・映画を貸し出します

- ◇ビデオ
 - お母さんの木 (アニメ)
 - 火垂るの墓 (アニメ)
 - 100ばんめのサル (アニメ)
 - 核戦争後の地球
 - 第一部 地球炎上
 - 第二部 地球凍結
 - チェルノブイリ・クライシス
 - ◇16ミリ映画
 - おこりじぞう (人形アニメ)
- ※詳しくは広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へ。